

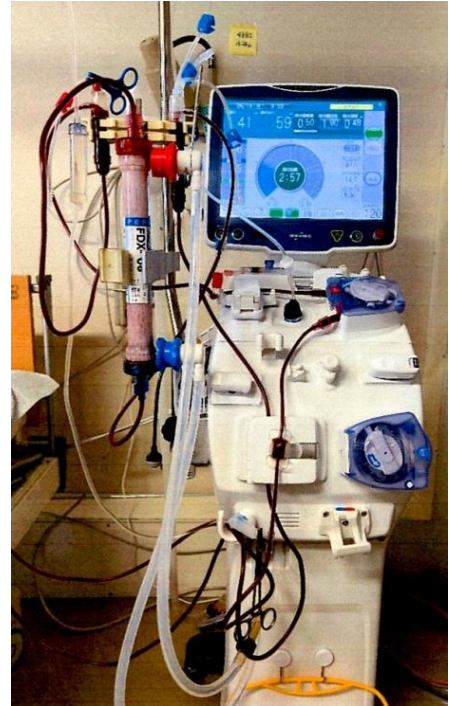
透析療法における当院の新しい取り組み

～オンライン HDF に向けた透析液清浄化～

～人工透析とは～

腎臓の機能が低下した場合に自身の腎臓の代わりにダイアライザーと呼ばれる人工腎臓のフィルターを介して、血液から老廃物・余分な水分を取り除く治療です。その際に使う透析液には、毒素を効率よく除去する以外に、血液中の電解質濃度や酸・塩基バランスを適切に調整するという役割があります。

当院では、2021年11月に最新の透析設備に更新しました。更新したことで今まで施行できなかったオンライン HDF（血液透析濾過）という治療が可能となりました。



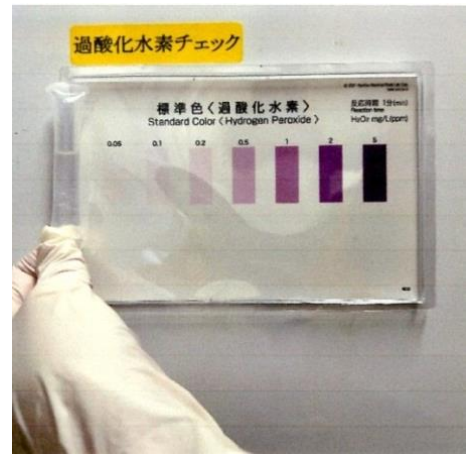
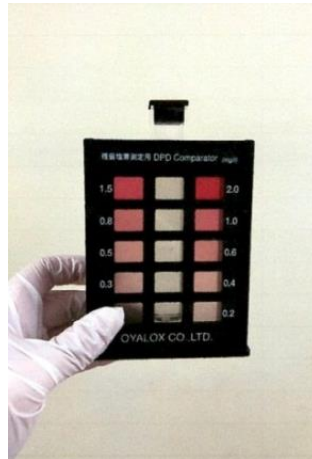
～オンライン HDF とは～

本来ダイアライザーの膜を介して血液の外側を流れている透析液を補充液として体内に補充する治療のことです。そこで重要となるのが透析液の厳格な水質管理です。

～水質管理～

「透析液清浄化ガイドライン Ver.2.00」を基準に水質管理をしています。

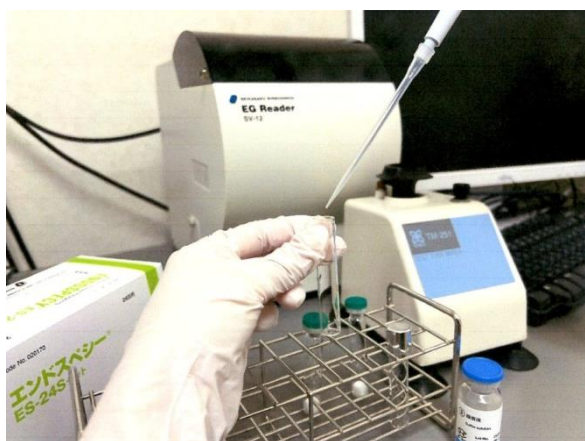
- 透析終了後、各種透析装置を毎日洗浄・消毒を行っており、翌朝透析を行う前に透析液に消毒薬剤が残っていないか検査をしています。



- 水道水にはカルシウムやマグネシウムが含まれています。これらが塩素と結合し、塩化カルシウムなどの沈殿が生じ機械の性能を低下させてしまう恐れがあります。そのため、透析液を作る際の水が軟水化されているか検査をしています。



- 透析液の水質を評価する指標に、エンドトキシン濃度と細菌数を測定しています。エンドトキシンとは、細菌の死骸から出る毒素のことです。これらが血液内に入ると発熱や悪寒、血圧低下などを引き起こし、とても危険なため定期的に検査をしています。



～患者さまへ～

安心・安全に透析をしていただく為に、日々透析液清浄化の維持に取り組んで参ります。

臨床工学科